町政を問う 一般質問

9月定例会

3期目の町政への思いは

A 今の任期を全うする

難波 俊司 議員

山碕町長の任期は、あと5カ月足らずの短い期間である。

新町発足当初、大変厳しい財政状況の中、経費の節減や町債の繰上償還をはじめ、町長自ら、また職員の給与削減に取り組んだ。その結果、財政はおおむね良好な状態に改善された。

また、重要課題として定住促進に取り組み、平成22年度の国勢調査では、前回調査より人口減少率が県内町村で一番低い状態にまで改善した。

これまでの実績を踏まえ、3期目の町政を望むが、町長の胸中は。

山碕 英樹 町長

新生飯南町の初代町長として、「いのち彩る里飯南町」の実現に向けて全力で取り組み、町民がこの町で幸せに暮らすために尽くしてきた。

現在、庁舎問題をはじめ幾多の課題があり、任期中に一定の方向づけをするため全力をあげる所存だが、現時点では次の事については気持ちを定めることができていない。

Q 今こそ新庁舎建を

A 支所機能検討先に

難波議員

合併特例債の発行期限が5年延長されたとはいえ、新庁舎建設は今行うべきと思うが、町長の考えは。

山碕町長

財政的に有利な合併特例債が利用できる間に建設すべきだが、町政座談会の意見を聞くなかで、新庁舎建設計画は一時おいて、支所機能などの検討を先に進めることにしたい。

エリーゼの工事現場

Q 利用者主体のダイヤを

A 配慮して協議する

難波議員

尾道松江線が開通後、高速バスの運行は廃止と聞いているが、利用者に十分配慮したダイヤ編成を望む。

山碕町長

三次方面は備北交通赤名線を頓原まで延長し、1日最大5往復を想定している。

松江・出雲方面については、赤名から町営バスにより、道の駅掛合経由で、高速道路上に新設される雲南吉田バス停まで、1日3～4往復の運行で協議を進めている。

利用者に配慮したダイヤを計画していく。

Q 地域振興策の説明を

A 町民に情報提供する

難波議員

本町誘致企業の進捗状況、また広島市へのアンテナショップ開設計画は現在どのような状況か。

山碕町長

誘致企業である（株）エリーゼは、現在まで古市工業団地内の進入路整備がほぼ完成し、工場建屋の基礎工事が始まっている。12月中に施設が完成し、社員採用は12月末までに10名、来年春までに合せて17名雇用される見通しだ。

アンテナショップは、広島市内でのビルテナントを視野に検討を行っているが、町民にも情報提供を行う。

庁舎建設は急ぐな

A 全方向から議論を進める

瀧尻 行雄 議員

本年7月に開催された住民説明会で、頓原・八神両地区会場では「新庁舎を赤名とする大義名分はどこにもない」と、厳しい反発があった。私は町民への対話と理解が不十分と感じたが、町長はどのように受けとめたか。

これまでも諸施策を推進するにあたって「応分の理解を得た」としてきたが、「応分の理解」とは何だったのか。

庁舎の機能と利便性は全町民の平等の権利であると考えるので、町長は庁舎建設問題をリセットすべきだ。旧2町が綱引きの原理に陥ることの無いよう、全体を見据えたバランス感覚を取り戻すことだ。

今こそ発想の転換をし、町全体を大きなスケールで考える以外、町の発展と将来はない。合併特例債が5カ年延期となった今、急ぐことはない。町民にとっては、産業の発展と働き場の確保こそ最重要課題である。

山碕 英樹 町長

それぞれの指摘については真摯に受け止めたい。住民説明会には誠意をもって対応した。

庁舎位置選定問題は、公平な立場の委員会が約1年間かかって集約したものであり、リセットする考えはない。

今後、本町にとって公平にバランスのとれた考え方で、全方向から見て議論を進めていく。

Q いじめ対策どうする

A 全力で取り組む

瀧尻議員

いじめは最近、本町でも起きているようだが、実態はどうか。

先般、文部科学省は4項目を中心とした「いじめ対策」を発表した。これまで学校現場にお任せの状態であったものを変更したものである。

①いじめ問題で外部人材を活用

②道徳教育や体験活用を通じたいじめ未然防止

③スクールカウンセラーの拡充

④生徒指導推進員の増員と教員研修の充実

外部から、弁護士、研究者、精神科医、元警察官らを委嘱し、いじめ問題アドバイザーという機関を常設する方針だと聞くが、本町におけるいじめ問題に対しどのように対応するのか。

安部 亘 教育長

本町でもいじめが発生している。平成22年度1件、23年度1件、24年度2件だ。

本年7月、文科相より談話が発表され、学校、教育委員会、家庭、地域および関係者が連携し、一丸となってこの問題の解決に取り組むことが示され、教育委員会としても全力で努力している。

本町では、小3～中3※全てを対象に「QUテスト」を実施することにし、スクールカウンセラーの充実を県へ要望している。

学校に対し、自ら点検を重ね、問題解決や未然防止に全力で取り組むよう指示している。

※【QUテスト】
学校生活における児童生徒一人一人の意欲や満足度等、および学級集団の状態を質問紙によって測定するもの。飯南町のQUテスト対応は、平成24年度より町内の小3～中3までの全児童生徒を対象に年2回実施している。

議員の質問持ち時間は40分です。